

用語解説	
ACGIH	American conference of Governmental Industrial Hygienists ; 米国産業衛生専門家会議
AEL	allowable exposure limit ; 許容濃度
AIHA	American Industrial Hygiene Association ; 米国産業衛生協会
ALC	approximate lethal concentration ; 概略致死濃度
ALD	approximate lethal dose ; 概略致死量
IARC	International Agency for Reserch on Cancer ; 国際癌研究機関
LC ₅₀	median lethal concentration ; 50% 致死濃度、急性毒性の指標の一つ。一定期間暴露された一群の試験動物の半数を死亡させることが予想される物質の空気中の濃度。
LC _{Lo}	lowest lethal concentration ; 動物又は人の死亡が報告されている化学物質の最低投与量。
LD ₅₀	median lethal dose; 50% 致死量、急性毒性の指標の一つ。一定期間暴露された一群の試験動物の半数を死亡させることが予想される物質の投与量。
NOAEL	no observed adverse effect level ; 最大無有害性影響量 (濃度)、設定された投与量 (濃度) のうち、試験動物に有害な影響が見られなかった最大の投与量 (濃度)
NOEL	no observed effect level ; 最大無影響量 (濃度)、設定された投与量 (濃度) のうち、試験動物に影響が見られなかった最大の投与量 (濃度)
NTP	National Toxicology Program ; 国家毒性プログラム
OSHA	Ocupational Safety and Health Administration (USA) ; 労働安全衛生局
PEL	permissible exposure limit ; 許容暴露限度 (米国労働安全衛生局による許容濃度)、1日8時間、週40時間の繰り返し労働において作業員に対し有害な影響を及ぼさない時間加重平均濃度
STEL	short term exposure limit ; 短時間暴露限度 (通常 15 分間の時間加重平均許容濃度)
TLV	threshold limit value set by ACGIH ; 米国産業衛生専門家会議によって設定された許容濃度
TLV-TWA	米国産業衛生専門家会議によって設定された時間加重平均の許容濃度 ; 1日8時間、週40時間の繰り返し労働において作業員に対し有害な影響を及ぼさない時間加重平均濃度
TWA	time-weighted average ; 時間加重平均
WEEL	workplace environmental exposure level guides set by AIHA ; 米国産業衛生協会により設定された作業環境許容濃度、1日8時間、週40時間の繰り返し労働において作業員に対し有
Ames 試験	細菌を用いた変異原性を明らかにするための予備試験 ; 発癌性の可能性を迅速にスクリーニングすることを主目的に実施される。
CHL 細胞	チャイニーズハムスターの肺細胞
ペルオキシダーゼ	細胞質内にある細胞小器官の一つで、カタラーゼ等の酵素を含み、酸化反応による過酸化物の産生と分解に関与する。
亜急性毒性	化学物質への反復暴露 (通常 28 日間) 後に現れる影響。
亜慢性毒性	化学物質への反復暴露 (通常 90 日間) 後に現れる影響。

管理濃度	労働安全衛生法第 65 条の 2 第 2 項の規定に基づく作業環境評価基準 (昭和 63 年 9 月 1 日労働省告示第 79 号) 別表に規定される。これに基づき作業環境における濃度が管理濃度以下となるよう改善が求められる。
急性毒性	事故によって漏洩したときに起こるような、1 回の高濃度暴露の影響
小核試験	染色体異常誘発を調べる生体内の試験
心感作	アドレリン等の薬品に対して心臓がより敏感になる効果。この効果により、突然心臓に異常が誘発される。
染色体	遺伝子情報を担う細胞核の一部
不定期 DNA 合成	遺伝子に修復活性があるかをみる試験であり、遺伝子損傷の有無を示す。
慢性毒性	試験動物の生涯にわたって行われる毒性評価で、化学物質の暴露により寿命の末期に発現する毒性を評価する試験
優性致死試験	変異原性を明らかにするための試験。通常、雄マウスを被験物質に暴露し、暴露していない雌と交尾させる。その雌の初期における胚の死亡を調べる。